

令和6年度 神代中学校 家庭科 1学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 評価の観点及びその趣旨

【知識・技能】

家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともにそれらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3. 1学年の目標

① 今までの自分を振り返り、人との関わりを考えることができる。

② 衣服の選択と着用、手入れについて学び、自分の衣生活を工夫して実践できるようにする。

③ 暮らすために必要な住居の機能と安全で心地よい室内条件について学び、よりよい住まい方の工夫を考えることができる。

④ 布を用いた物の制作を行い、生活を豊かにするための工夫ができるようになる。

4. 指導計画・評価計画表

		観点・評価規準			評価資料
月	指導内容	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】	
4	【今までの自分と人とのかわり】(1時間) ・小学校の学習を振り返り自分の成長を確認しよう ・より良い家族関係を考えよう ・3年間の学習の見通しをもち、自立した生活者を目指そう			・自分の成長や生活は家族やそれにかわる人々に支えられてきたことに気付いている。 ・小学校の学習を振り返り、3年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・授業に対する取り組み ・プリント
5	【衣生活と自立】(10時間) ・衣服のはたらきを考えよう (1)衣服の社会生活上のはたらき (2)目的に応じた服装と個性を生かす服装	①衣服の社会生活上の機能について理解する。 ②自分の個性について考える機会をもち、理解する。 ①衣服の着用に関する社会的役割を考慮しながら、自らの個性を発揮する着方について基礎的な技術を身につける。	①目的に応じた着用をすることが大切であることを考え、工夫する。 ②衣服の役割を踏まえながら、個性を生かす着用について工夫する。	①衣服と社会生活との関わりに関心を持ち、時・場所・場合に合った衣服を着用しようとする。 ②個性を生かす着用について興味を持って進んで考えようとする。	・授業に対する取り組み ・ハンドノート ・プリント ・提出物 ・作品の完成 ・定期テスト
6	・日常着の選択と手入れ・補修 (1)既製服の表示	①既製服の表示と選択に当たっての注意点を理解する。既製服の表示や縫製などについて調べ、適切に選択できる	①日常着の計画的な活用について考え、工夫する。	①日常着の計画的な活用に関心をもって学習活動に取り組もうとしている。	
7	(2)衣服の素材 (3)衣服材料と洗濯 (4)ほころび直し(基礎縫い技術)	②綿、毛、ポリエステルなどの手入れに関わる性質について理解する。 ③洗濯の方法と特徴について理解する。 ④補修の目的と布地に適した方法がわかる。適した手入れができる。 ⑤環境に優しい洗濯について理解する。環境に配慮して洗濯を行うことができる。衣服材料や汚れの程度に応じた手入れができる。	②着られなくなった衣類や普段活用されていない衣類の有効活用について工夫する。 ③日常着の手入れについてどのようにしたらより良いかを考え、工夫しながら取り組む。 ④環境に配慮した洗濯の工夫について考える。	②既製服を購入するときのポイントについて意欲的に考えようとしている。 ③衣服材料に応じた日常着の手入れについてや、衣服の補修について関心をもって学習活動に取り組もうとしている。	
8	【生活を豊かにするために】(15時間)				
9	・布を用いた物の制作	・身に付けた技術を生かし、安全で効率よく作品の製作をすることができる。	・工夫して作品を製作することができる。	・今までの学習を振り返り、布を用いた物の製作に関心をもって取り組んでいる。	・授業に対する取り組み ・作品 ・製作記録カード
10					
11	【持続可能な衣生活】(1時間)		衣生活と資源や環境とのかかわりから問題を見出し、課題を設定している。		ワークシート
12	【住生活の自立】(8時間)				
1	・住まいのはたらき	・住居の機能と安全で快適な室内環境の条件を理解している。	・よりよい住み方ができるように、自分なりの工夫をしたり考えたりしている。	・家族が住むために必要な住居の機能について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	・授業に対する取り組み ・ハンドノート
2	・安全な住まいで安心な暮らし	・汚れの種類を知り、それに適した掃除を行うことができる。	・非常時の備えや学校内の安全点検などの学習を通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。	・安全で快適な室内環境について理解し、関心を持ち、整え方や住まい方の課題を自分で見つけて取り組もうとしている。	・ワークシート ・提出物 ・定期テスト
3	・持続可能な住生活				